

# 「医師の働き方改革」 2024年4月1日に向けた実務対応

20220827

hrms-jp 人事労務マネジメント研究会

河北 隆

# 我が国における時間外労働の現状

## 1週間の労働時間の実績（職種別雇用者割合）

職種別のすべての雇用者（年間就業日数200日以上・正規職員）について、1週間の労働時間の実績を見ると、医師・自動車運転従事者などで高い値となっている。

	合計	管理的職業従事者	専門的・技術的職業従事者	研究者	医師（歯科医師、獣医師を除く）	教員	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	生活衛生サービス職業従事者	飲食調理従事者	保安職業従事者	農林漁業従事者	生産工程従事者	輸送機械運転従事者	自動車運転従事者	建設採掘従事者	運搬・清掃・包装等従事者	分類不能の職業
1週間の労働時間が43時間未満の雇用者の割合	36.1%	43.9%	34.7%	36.4%	19.3%	27.9%	49.7%	27.0%	37.9%	17.5%	25.7%	35.4%	25.1%	34.6%	20.5%	14.1%	19.7%	36.8%	33.9%
1週間の労働時間が43～48時間の雇用者の割合	28.5%	22.8%	28.9%	32.4%	16.8%	21.2%	27.2%	27.5%	24.7%	20.9%	19.9%	24.7%	30.0%	32.3%	24.5%	20.8%	36.5%	29.1%	27.2%
1週間の労働時間が49～59時間の雇用者の割合	21.0%	19.6%	22.4%	19.3%	22.1%	27.1%	15.9%	25.3%	18.5%	26.2%	19.3%	21.0%	25.9%	22.5%	23.6%	24.7%	26.6%	18.9%	18.9%
1週間の労働時間が60時間超の雇用者の割合	14.0%	13.3%	13.7%	11.2%	41.8%	23.6%	7.1%	20.0%	18.3%	35.1%	34.4%	18.5%	18.7%	10.4%	30.8%	39.9%	16.9%	15.0%	17.2%

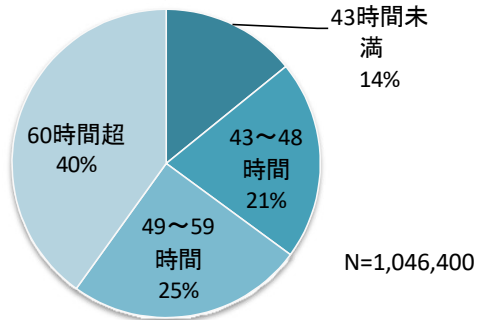
（出典）総務省・平成24年就業構造基本調査

医師は自動車運転従事者と並んでわが国の長時間労働の代表職種です。

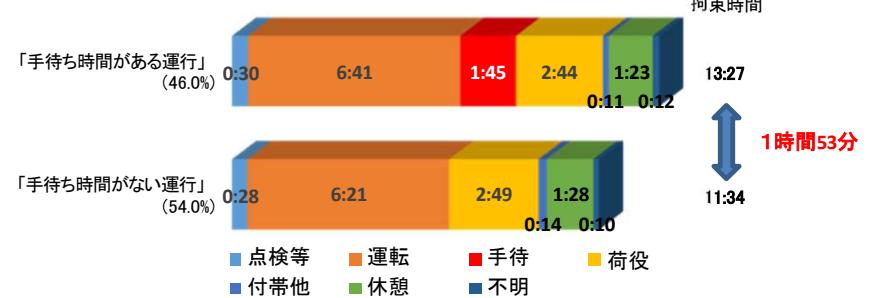
# 長時間労働の指摘がある業種・職種の実態について（トラック運送業）

- ▶ 1週間の労働時間が60時間超の自動車運転従事者は約40%となっている。【表1】
- ▶ 手待ち時間がある運行での拘束時間は、手待ち時間がない運行と比べて平均拘束時間が2時間弱長くなっている。【表2】
- ▶ ドライバーが不足している場合の対応として、「下請・備車(※)で対応している」が78.4%と一番多く、休日出勤(38%)、早出残業(24.5%)など、時間外労働での対応も見られる。【表3】 (※)他の会社のトラックドライバー及び車両を一時的に借り受ける事によって荷物を配送する事
- ▶ 労働時間短縮に向けて、トラック運送事業者が荷主側で必要と思われることとして、「配達先での手待ち時間削減への口添え」が59.2%と一番多く、「配達先への配達指定時刻の延長・柔軟化(52.8%)」、「荷役の機械化等による荷役時間の削減(35%)」等が挙げられている。【表4】

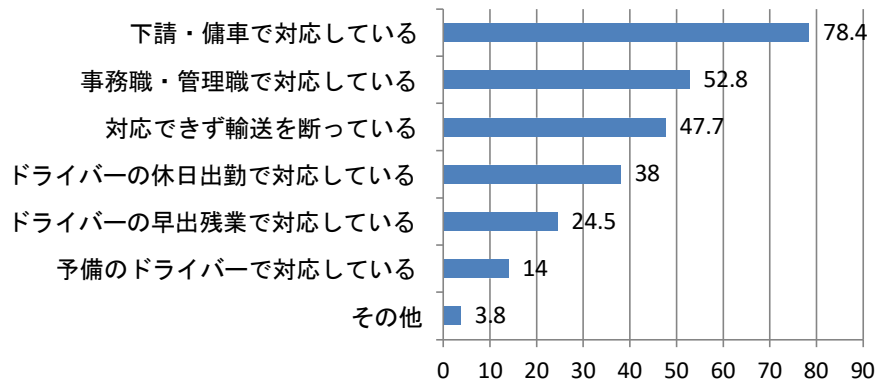
【表1】自動車運転従事者の1週間の労働時間の実績



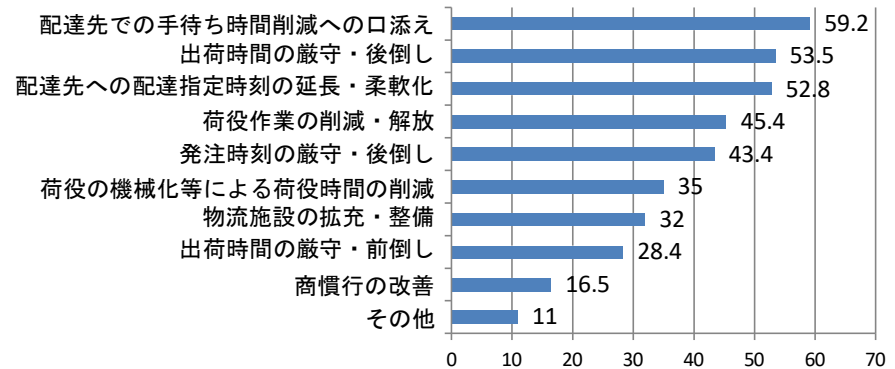
【表2】拘束時間の内訳(手待ち時間の有無別)



【表3】ドライバーが不足している場合の事業者の対応(複数回答)



【表4】ドライバーの労働時間短縮に向けて、事業者から見て、荷主側で必要と思われること(複数回答)



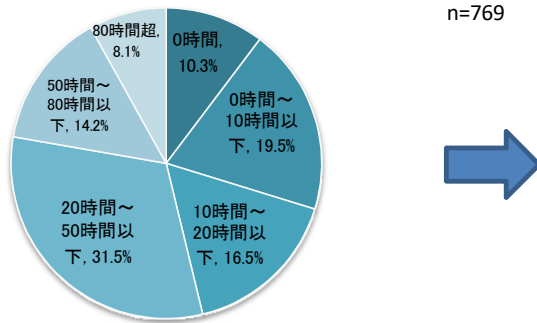
出典:表1 平成24年就業構造基本調査(総務省) ※当該データは雇用者(年間就業日数200日以上・正規職員)を対象としている。  
表2~4 トラック輸送状況の実態調査(平成27年9月)(厚生労働省・国土交通省)

# 長時間労働の指摘がある業種・職種の実態について（医師）

- 医師の1ヶ月の時間外労働時間数は、「20時間～50時間以下」が31.5%と最も割合が多くなっており、50時間超は2割強、80時間超が8.1%となっている。平均は34.1時間。【表1、(1-1)】
- 時間外労働の主な理由は、「緊急対応」や「手術や外来対応等の延長」が多くなっている。【表1、(1-3)】
- 1ヶ月の休日数は平均5.3日となっている。【表2】

## 【表1】労働時間の実態

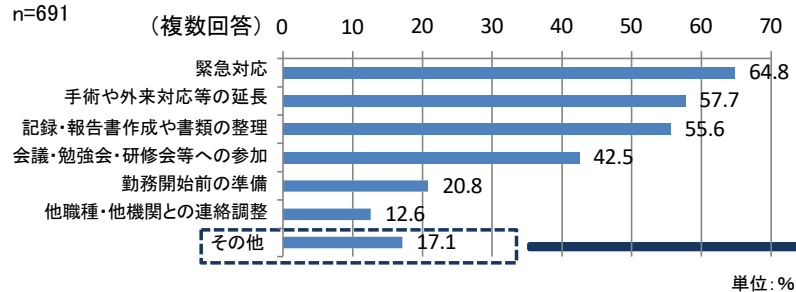
(1-1) 1ヶ月の時間外労働時間数(平成27年6月) n=769



(1-2) 年齢別、1ヶ月の時間外労働時間数(平成27年6月) 平均=34.1時間

	0時間	0時間～10時間以下	10時間～20時間以下	20時間～50時間以下	50時間～80時間以下	80時間超
計	10.3	19.5	16.5	31.5	14.2	8.1
20～30歳未満	3.2	3.2	19.4	22.6	19.4	32.3
30～40歳未満	3.9	20.9	17	34.8	13.9	9.6
40～50歳未満	7.1	18.9	17.9	33.8	15.2	7.1
50代以上	22.6	21.2	13.7	25.9	12.3	4.2

(1-3) 時間外労働の主な理由(平成27年6月) n=691



### 「その他」の内訳

その他の内容	件数
病棟業務	48
当直(宿日直)	21
通常業務	18
学会・研究会・勉強会の準備	11
重症患者対応	4
待機	4
患者対応	3
診療	3
夜勤	2
面談	1
病院運営業務	1

## 【表2】休日・休暇の実態

1ヶ月の休日日数(平成27年6月) 平均=5.3日 n=977

休日数	割合
0日	11.4%
1～3日	14.6%
4～7日	47.0%
8日	16.3%
9日以上	10.7%

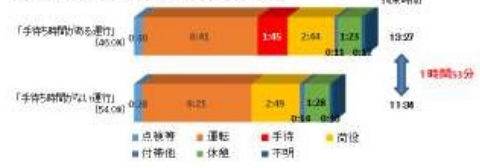
## 長時間労働の指摘がある業種・職種の実態について（トラック運送業）

- ▶ 1週間の労働時間が60時間超の自動車運転従事者は約40%となっている。【表1】
- ▶ 手待ち時間がある運行での拘束時間は、手待ち時間がない運行と比べて平均拘束時間が2時間弱長くなっている。【表2】
- ▶ ドライバーが不足している場合の対応として、「下請・備車※」で対応しているが78.4%と一番多く、休日出勤(38%)、早出残業(24.5%)など、時間外労働での対応も見られる。【表3】 (※)他の会社のトラックドライバー及び車両を一時的に借り受ける事によって荷物を配送する事
- ▶ 労働時間短縮に向けて、トラック運送事業者が荷主側で必要と思われることとして、「配達先での手待ち時間削減への口添え」が59.2%と一番多く、「配達先への配達指定時刻の延長・柔軟化(52.8%)」、「荷役の機械化等による荷役時間の削減(35%)」等が挙げられている。【表4】

【表1】自動車運転従事者の1週間の労働時間の実績



【表2】拘束時間の内訳(手待ち時間の有無別)



【表3】ドライバーが不足している場合の事業者の対応(複数回答)



【表4】ドライバーの労働時間短縮に向けて、事業者から見て、荷主側で必要と思われること(複数回答)



出典:表1 平成24年度運輸基本調査(総務省) 表2表3 平成24年度運輸基本調査(総務省) 表4 平成24年度運輸基本調査(総務省) 表5 平成24年度運輸基本調査(総務省) 表6 平成24年度運輸基本調査(総務省) 表7 平成24年度運輸基本調査(総務省) 表8 平成24年度運輸基本調査(総務省) 表9 平成24年度運輸基本調査(総務省) 表10 平成24年度運輸基本調査(総務省)

## 「同じところ」

- ① 働いているのは「生身の人間」だということ。
- ② 拘束時間がとても長いということ。
- ③ 相手(荷主と患者)の事情が優先されること。

## 「違うところ」

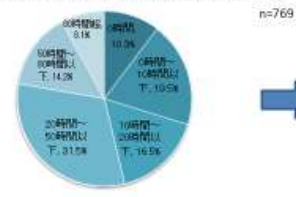
- ① 目の前の相手が「生身の人間」だということ。
- ② 勤務の実態が把握しやすい／しにくい。
- ③ 医師は長年、労務管理の不可侵領域だった？

## 長時間労働の指摘がある業種・職種の実態について（医師）

- ▶ 医師の1ヶ月の時間外労働時間数は、「20時間～50時間以下」が31.6%と最も割合が多くなっており、50時間超は2割強、80時間超が8.1%となっている。平均は34.1時間。【表1、(1-1)】
- ▶ 時間外労働の主な理由は、「緊急対応」や「手術や外来対応等の延長」が多くなっている。【表1、(1-3)】
- ▶ 1ヶ月の休日は平均5.3日となっている。【表2】

【表1】労働時間の実態

(1-1) 1ヶ月の時間外労働時間数(平成27年6月) (1-2) 年齢別、1ヶ月の時間外労働時間数(平成27年6月) 平均=34.1時間



	0時間	0時間～10時間以下	10時間～20時間以下	20時間～50時間以下	50時間～80時間以下	80時間超
計	10.3	19.5	16.5	31.5	14.2	8.1
20～30歳未満	3.2	3.2	19.4	22.6	19.4	32.3
30～40歳未満	3.9	20.9	17	34.8	13.9	9.6
40～50歳未満	7.1	18.9	17.9	33.8	15.2	7.1
50歳以上	22.6	21.2	13.7	25.9	12.3	4.2

(1-3) 時間外労働の主な理由(平成27年6月)



「その他」の内訳

その他の内容	件数
業務委託	48
当番(当直)	21
通常業務	18
学会・研究会・勉強会の準備	11
重症患者対応	4
待機	4
患者対応	3
研修	3
夜勤	2
医師	1
伊豆運送業	1

【表2】休日・休暇の実態

1ヶ月の休日数(平成27年6月) 平均=5.3日 n=977

休日数	割合
0日	11.4%
1～3日	14.6%
4～7日	47.0%
8日	16.9%
9日以上	10.7%

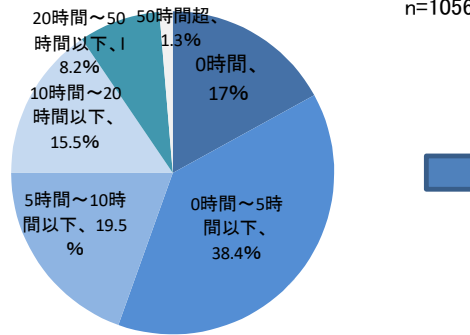
出典:平成27年度厚生労働省医療分野の勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究事業報告書

# 長時間労働の指摘がある業種・職種の実態について（看護師）

- 看護師の1ヶ月の時間外労働時間数は、「0時間～5時間以下」が38.4%と最も割合が多くなっており、平均は9.2時間となっている。【表1、(1-1)】
- 時間外労働の主な理由は、「記録・報告書作成や書類の整理」や「会議・勉強会・研修会等への参加」が多い。【表1、(1-3)】
- 1ヶ月の休日数は平均9.2日となっている。【表2】

## 【表1】労働時間の実態

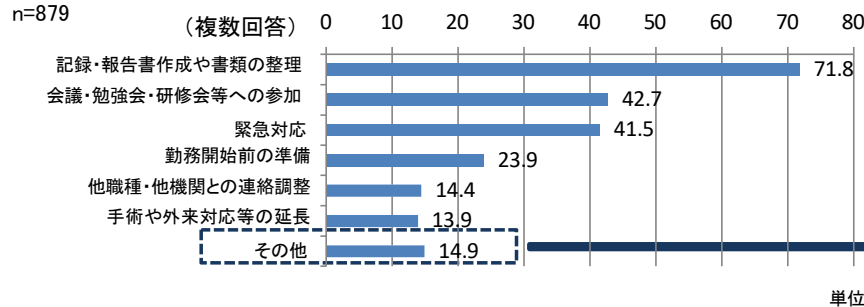
(1-1) 1ヶ月の時間外労働時間数(平成27年6月) n=1056



(1-2) 年齢別、1ヶ月の時間外労働時間数(平成27年6月) 平均9.2時間

	0時間	0時間～5時間以下	5時間～10時間以下	10時間～20時間以下	20時間～50時間以下	50時間超
計	17	38.4	19.5	15.5	8.2	1.3
20～30歳未満	7.4	43.4	20.6	21.1	5.7	1.7
30～40歳未満	16.9	41	17.2	14.8	8.4	1.8
40～50歳未満	15.8	36.3	24.1	13.9	8.6	1.4
50代以上	28.2	33.5	13.8	14.9	9.6	0

(1-3) 時間外労働の主な理由(平成27年6月) n=879



### 「その他」の内訳

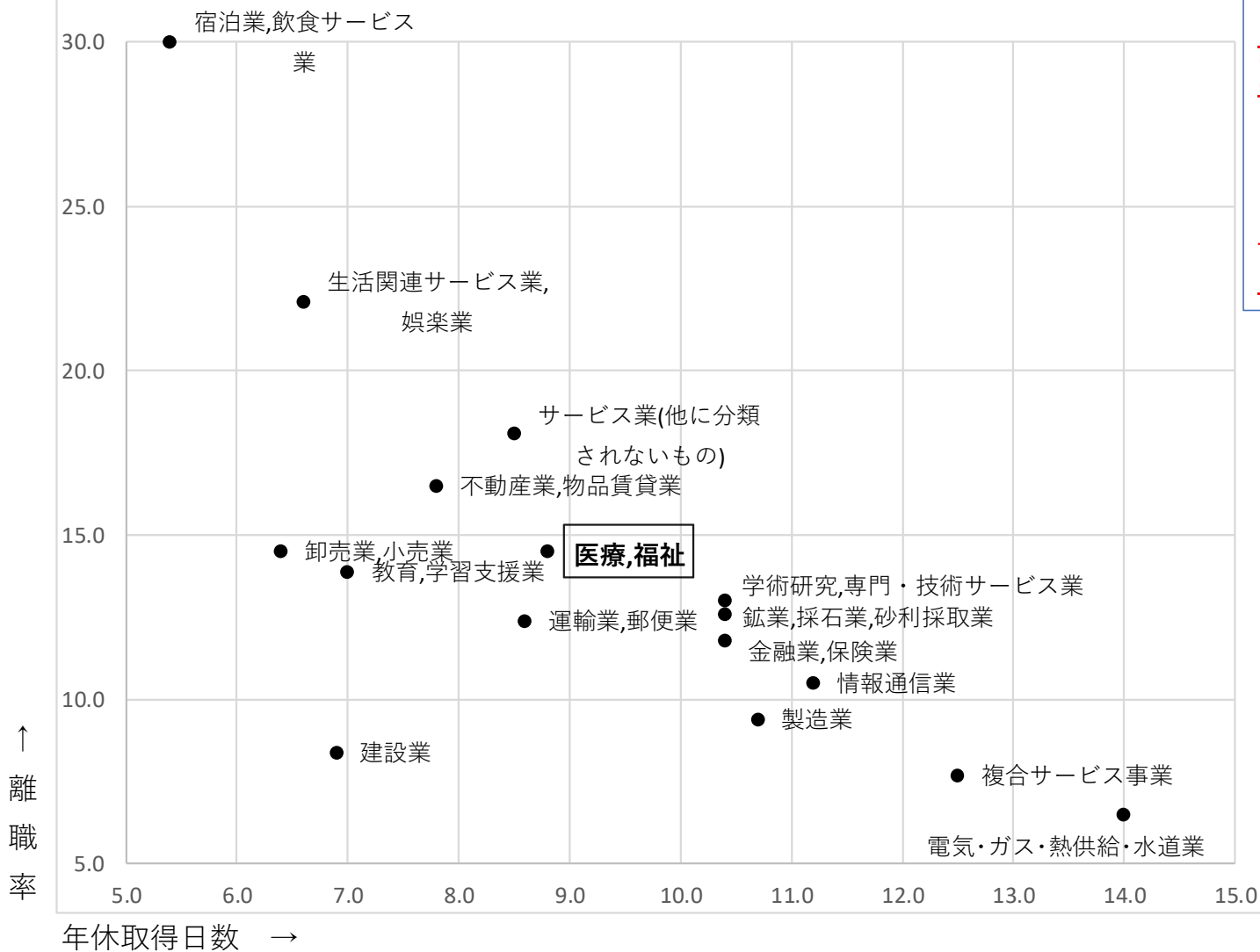
その他の内容	件数
患者対応(ナースコール対応含む)	34
指導・教育	19
医師の指示待ち・指示対応(回診・診察含む)	17
入院対応	9
他のスタッフの支援	8
看護研究	6
会議(委員会等)	5
薬剤・服薬管理	5
リーダー業務	4
食事介助	4
管理業務・勤務表作成	4
延長業務	3
患者家族への対応	3
記録作成	2

## 【表2】休日の実態

1ヶ月の休日日数(平成27年6月) 平均=9.2日 n=1247

休日数	割合
0日	0.7%
1～3日	0.6%
4～7日	6.8%
8日	22.7%
9～10日	51.8%
11～12日	14.8%
13日以上	2.6%

年次有給休暇取得日数と離職率



「働き方改革」は「働きすぎ改革」であり、「休み方改革」です。

また、その目的は「働きやすく、働きがいのある職場づくり」です。

平成29年雇用動向調査および就労条件総合調査（いずれも厚労省）より